

教職員研究グループ活動状況報告書

代表者の所属・職・氏名	川西市立多田小学校	研究グループ名 ( 食教育研究会 )
	栄養教諭 川上 陽子	

研究テーマ分類番号 ( 7 )

(1)研究テーマ

学校給食から広がる食育  
～ 食に関する指導の全体計画・年間計画の定着を図るために～

(2)研究経過及び具体的な取組

年間を通して 学校給食を生きた教材として食育を推進するために、様々な教育活動に活かせる献立を立案したり、各教科との関連で「食で教える授業」を提案したりする。

6月30日 かわにし食育フォーラム2012

- ・場 所：川西市アステホール
- ・内 容： 「ちゃんと食べて ちゃんと生きる」をテーマに、講演と実演  
学校給食や食育のパネル展示・給食のメニューレシピ配布
- ・講 師：料理研究家
- ・成果と課題：レンジを使って作る、簡単でバランスの良い献立が紹介され参考になった。市全体での食育の交流ができた。パネル参加だけでなく、  
今後はここに参集するさまざまな立場で食育にとりくむ組織と共催で学校給食展を開催できるようにしたい。

6月12日 川西市学校給食店の開催に向けて

- ・内 容：給食展で何を伝えたいかの話し合い 役割分担等

7月31日 食育研修

- ・場 所：川西市生涯学習センター（参加者 40名）
- ・内 容：講演  
演題：「食べることは生きること」
- ・講 師：NPO 法人生涯学習サポート兵庫理事長
- ・成果と課題：子ども自身が自分で考え・選ぶ・決める、そこから行動に移すことが大切だということを強く感じた。「食べる」プログラムの可能性を生かし、子どもたちに「生きる力」や「遊び力」をつけるため、  
どのように進めたらいいのか、どのようにかかわっていったらいいのかを考えるヒントを、たくさん得ることができた。

11月21日 川西市学校給食展の開催に向けて

- ・内 容：各班の交流・調整及び学校給食展の計画準備・展示物作成  
川西の手作り給食のアピール 地産地消・食品の選定について  
献立を充実させるための献立研究  
学校給食の内容、週5回米飯になって自給率はどう変わったかの調査  
ご飯に合うおかず（ex 魚料理・煮物・和え物等）の残量の変化について  
児童との交流や、保護者への啓発、  
親子クッキングの実施等について、

1月26日 川西市学校給食展の開催 予定

2月 各校の交流